



九州支部「第18回九州支部福岡大会」報告

2011年度の九州支部大会は、福岡市の西端、糸島半島に位置する九州大学伊都キャンパスを会場とし、12月10日(土)に開催されました。折しも前日より気温が下がり、外気温は低い状況ではありましたが、各会場内では寒さに負けない活発な質疑討論が行われました。

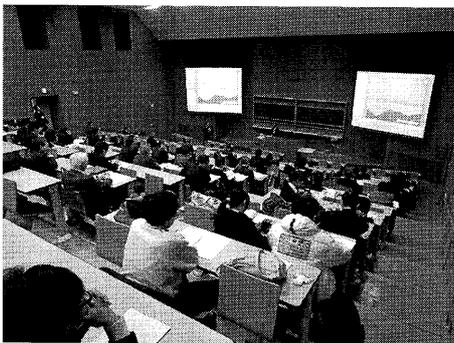
参加者は一般75名、学生85名、合わせて160名でした。一般講演は64件、学生賞講演は20件の計84件となり、午前9時から15時まで、4会場を並行して一般講演発表を行いました。学生賞講演は、例年の倍の数のエントリーがあり、関東方面からの参加者もありました。タイトなスケジュールの中、座長ならびに学生賞審査をご担当頂いた九州支部の諸先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、昼の休憩時間には支部評議員会が開催されました。

15時15分からは、赤松隆九州支部長の挨拶の後、昨年生物工学賞を受賞された木田建次先生による「低炭素社会構築のための環境調和型プロセスの開発」と題した特別講演がありました。木田先生には、バイオガス化、バイオエタノール化ならびに焼酎製造に関する先生のライフワークに関する大変興味深いお話をして頂きました。ご講演の最後では、来年から赴任される四川大学の立ち上げの様子も紹介して頂きました。続いて、原島俊会長による「微生物育種におけるパラダイムシフト-ゲノムのワードプロセッシング技術の開発と応用-」と題した特別講演がありました。大阪大学における遺伝学講座の歴史から、酵母を対象とした育種理論の確立と育種技術の開発に関して、新しいゲノム工学技術とその応用を含め、最新の微生物育種技術に関する興味深いお話を伺うことができました。

その後、伊都キャンパス食堂ビッグどらにて、17時よりミキサーを行いました。後藤雅宏実行委員長の挨拶に続き、原島会長からの祝辞、赤松支部長の乾杯のご発声の後、和やかな雰囲気の中、参加者間での交流が深められました。台湾からのご参加もあり、お土産に頂戴したお酒の説明などもして頂きました。ミキサーの中で、学生賞の表彰式が行われました。本年度の受賞者は、博士の部は西江麻美さん(九州大)、修士の部は宮崎彩さん(九州大)、岡本憲明君(九州大)、中原秀樹君(九州大)、芳賀智亮君(東京大)の計5名が受賞しました。審査委員長の赤松支部長の講評の後、各受賞者へ賞状と記念品の贈呈が行われ、受賞者本人から一言ずつコメントと今後の抱負を述べてもらいました。最後に、安部淳一副支部長の中締めにより、ミキサーを終了しました。正確には数えておりませんが、90名程度のご参加を頂いたものと思われます。バスの時刻が限られるという伊都キャンパス特有の事情で、ご参加の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、限られた時間の中でもご参加の皆様と懇談の時間を持てたことを嬉しく思っております。

2012年度は12月1日、別府大学での開催を予定しております。多くの皆様の参加を期待しております。

(神谷典穂)



特別講演会の様子(左)と学生賞受賞者の面々(右)